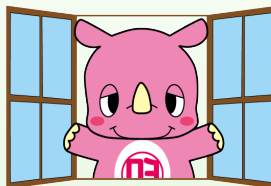


対話を紡ぎ、共に創る コミュニティ・スクール



令和8年度
コミュニティ・
スクール通信3号
印西市生涯学習課

5月14日には印旛中学校区と船穂小学校の学校運営協議会が開催され、続く18日には原山中学校区、さらに25日には印西中学校区において第1回学校運営協議会が立て続けに行われました。

原山中学校区（原山中・内野小・原山小）は今年度からコミュニティ・スクールをスタートし、印西中学区（印西中・木下小・大森小）は2年目を迎えました。

いずれの地区の学校運営協議会においても、活発に熟議（熟慮と議論）が行われました。

原山中学校区 学校運営協議会 開催レポート

印西市のニュータウン地区にある原山中学校区はICTを活用した教育が盛んな学校区であり、「学校情報化優良校」の認定に加え、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと共同的な学びを充実させ、校務DXする「リーディングDX事業」、そして、生成AIを、校務および学習場面で適切に活用する「生成AIパイロット校」の指定をも受けています。



最初に授業参観を行いました。



提案された議事が承認されました。

意見を出し合う「熟議」では、「小学校と中学校、双方の取組や思いを共有でき、有意義な機会となった」、「協議会は学校課題について率直に話し合える場として期待する」などの感想や、「教職員と地域の対話がこどもたちの成長につながる」、「基礎的な学力の確実な定着が必要である」、「ICT活用と共に『読む力』の育成を重視していく」などの意見が出されました。

学校運営協議会について、「新たなスタートラインに立つ」という、会長の発言も印象的でした。

印西中学校区 学校運営協議会 開催レポート

印西中学校区（印西中・木下小・大森小）の学校運営協議会は昨年度から設置され、本年度（令和8年度）は2年目となります。

「学校運営協議会の方針」では、方針・年間計画の提案にあわせて、昨年度の成果と課題についての説明がありました。

その後、プレゼンテーションソフトを用いた、各学校長からの学校運営基本方針の説明を受け、「各学校の運営や



学校長より経営基本方針の説明



話し合われたことについて発表

教育的ニーズに対し、家庭・地域としてどのように具体的に支援していくか」について、学校ごとに分かれて熟議が行われました。

「学校の教育課程における地域人材の活用の具体案」、「安全面の課題への支援について」意見が出ました。また、昨年度の協議会でリストアップされた支援案に新たな内容を加え、整理しながら、具体策の検討に入ったグループもありました。

2年目に入った協議会として、今年度のさらなる展開が期待されます。